

第2回 「知事と語る やまなしづくり」結果概要

対話テーマ：障害児(者)と家族が安心して生活できる地域社会を目指して
～障害児(者)を取り巻く現状と課題～

県民の夢を叶えるパートナーである県は、知事が直接、幅広い層の県民と意見交換をすることで、県民が抱えている課題を把握し、その解決や新たな施策の立案等に生かしていきたいと考えています。

今回は、やまびこ支援学校のPTAの皆さまと、日ごろの生活の中で抱える課題などについて意見交換を行いました。

【日時場所】 令和元年11月22日(金) 午後2時から 県立やまびこ支援学校(大月市)

【対話相手】 やまびこ支援学校PTA関係者 7名

(主な意見等)

- 東部地域は、障害福祉サービスが不足しているため、国中地域のサービス事業所等を利用しなければならず、送迎など負担が大きい。
- 県東部地域に障害児(者)が短期入所できる施設を増設してほしい。
- 子どもたちの可能性を伸ばす教育の場であるやまびこ支援学校を卒業した後、その可能性を生かす場がない。地域に就労支援を行う事業所を増設してほしい。
- 災害が長期化した場合でも、安心して滞在できる避難場所を確保してほしい。
- 就学前に受けられる各種サービスなどの情報が保護者に入りにくい。
- やまびこ支援学校の移転改築に感謝する。子どもたちだけでなく、保護者の希望にもなり勇気もらっている。地域に愛される学校になるよう保護者も全力で頑張っていく。

(知事(県)の主な発言)

- 短期入所について、平成30年度から始まった高齢者施設を利用した共生型サービスの活用を促進していく。更に八王子市や相模原市などの県外近隣施設との連携も検討していく。
- 就労支援を行う事業所の増設に向けて事業者には最大限の支援を行う。
- 未就学児を持つ保護者への情報提供は、利用者目線に立った仕組みづくりを進めるとともに、避難場所の確保も早期に実現できるよう、県として最大限努力する。
- 障害者福祉に携わる人材の育成にも取り組むとともに、市町村と連携を図りサービスの向上を目指し、障害のある方が地域の中で安心して生活できる環境づくりを進める。

